

| | | |
|-----------|--|--|
| 学校の教育目標 | ○自他を大切にし、思いやりのある人 ○積極的に学習し、考えて行動できる人 | ○心身ともに健康で、豊かな実践力のある人 ○文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人 |
| 特別活動の目標 | ○全体指導計画を充実させ、学校行事を精選するとともに、「生きる力」を育むために生徒同士による「熟議」を経て問題解決能力を養う。 ○生徒が組織する実行委員会を中心に自らが企画、運営するプロセスを重視した指導を行う。その活動を通し、主体的な態度の育成と自己を生かす能力の伸長を図る。 | |
| 目指す子供像 | ○よりよい学校生活の実現に向け、向上心を持って自分で考え行動する生徒 ○将来に対して夢や希望を抱き、目標を持って努力を続けることができる生徒 | ○集団や社会の一員としてルールやマナーを尊重し、遵守しようとする生徒 ○自らの力で問題を解決し、他と協力しながら実践力を発揮できる生徒 |
| 特別活動の重点目標 | ○学級活動の充実を図り、生徒と教師、生徒同士の信頼感を深め、豊かな人間関係を深める。 ○生徒会活動では、伝統となっている各取り組みに対して自主活動を通して生徒の個性や可能性の伸長を図る。 ○全体にわたる指導計画をもとに、学校行事を精選するとともにねらいを明確にし、生徒の意欲を喚起する。特に行事を通して生徒の自主性や主体性を育てる。 | |

| | 学級活動 | 生徒会活動 | 学校行事 |
|------------|--|---|--|
| 目標 | ○日常的な学級での活動や文化的行事、体育的行事への取り組みを通して生徒と教師、生徒同士の信頼感を深め、豊かな人間関係を育てる。 ○学級を単位とする集団生活を通して健全な生活態度を育てる。 | ○望ましい人間関係を築く力を中心に、社会性や協調性、心身の調和のとれた発達、個性の伸長を図るよう努める。 ○学校生活の充実や、改善向上を図る活動を通して、自主的、実践的な態度を育てる。 | ○特色ある本校の学校行事を通して母校愛を育て、地域社会にも積極的に関わっていく態度を養う。 ○体験的活動を通して、社会性を育て、働くことの尊さや創造の喜び、他に役立つことのすばらしさを体得させる。 |
| 指導の方針 | (1) 学級内の個人の問題を含めたさまざまな問題の解決のために協力し合う中で、学校生活へのよりよい適応を図る。 (2) 学級内の役割を互いに積極的に担うことを通して、集団への所属感、連帯感を感じ、集団をよりよくしようとする態度を養う。 (3) 人間としての生き方の自覚を深め、自己を生かす能力を養う。 (4) 行事や諸活動の様々な実践のなかで言語活動を多く取り入れながら、コミュニケーションを図る。 | (1) 学校行事に協力する活動の中で積極的に参加してこそ豊かで、楽しく、充実した学校生活を過ごせることを理解させる。 (2) 活動の中で、人間を相互に尊重理解、協力する態度を育てる。また、社会的に自己実現を図る能力や公民としての資質を培う。 (3) ボランティア活動に積極的に取り組もうとする心情を育むとともに、それを実践する機会をできるだけ多く設ける。 | (1) 日常の学習の成果を生かし総合的に発展させる契機とする。 (2) 大きな集団の中での活動により、通常の学校生活では得られない幅広い人間関係を学ぶ。 (3) 学校生活に色彩を添え、折り返しを付けるとともに学校生活をより豊かにする。 (4) 行事に参加し、協力する中で自主的、実践的な態度を養う。 |
| 主な指導内容 | (1) 学級や学校の生活づくり (学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担) (2) 適応と成長及び健康安全 (青年期の理解、自己の個性の理解、個人的な不安や悩みの解決、健全な生き方の探求、望ましい人間関係の確立) (3) 学業と進路 (自主的な学習の意欲や態度の形成、情報の適切な活用、健康安全に関すること、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること) (4) 教育相談などのガイダンス機能の充実 (個々の生徒へのカウンセリング、二者面談) | (1) 生徒会の計画や運営 生徒総会、中央委員会、生徒会役員選挙、新聞や生徒会誌の発行、地域行事等の紹介 (2) 異年齢集団による交流 新入生を迎える会、卒業生を送る会、新入生オリエンテーション (3) 生徒の諸活動についての連絡調整 各専門委員会による活動 (4) 学校行事への協力 運動会、学芸発表会への協力 (5) ボランティア活動などの社会参加 落ち葉掃きボランティア、募金活動 等 | (1) 儀式的行事 入学式、卒業式、対面式、始業式、終業式、修了式、開校記念に関する儀式、着任式、離任式 (2) 文化的行事 学芸発表会、弁論大会、健康安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事、日本の調べ (3) 健康安全・体育的行事 健康診断、薬物乱用防止教室、セーフティ教室、交通安全指導、避難訓練、運動会、球技大会 (4) 旅行・集団宿泊的行事 遠足、修学旅行、林間学校 (5) 勤労生産・奉仕的行事 チャレンジ・ザ・ドリーム、上級学校や職場の訪問・見学、清掃美化活動、校内外ボランティア活動 |
| 配当時数 | (1) 学級や学校の生活づくり 18単位時間 (2) 適応と成長及び健康安全 5単位時間 (3) 学業と進路 10単位時間 (4) 教育相談 2単位時間 | (1) 生徒総会 4単位時間 (2) ボランティア活動 2単位時間 (3) 新入生歓迎会、部活動説明会 1単位時間 (4) 新入生オリエンテーション 1単位時間 | (1) 儀式的行事 10単位時間 (2) 文化的行事 10単位時間 (3) 健康安全・体育的行事 12単位時間 (4) 旅行・集団宿泊的行事 20単位時間 (5) 勤労生産・奉仕的行事 10単位時間 |
| 各教科 | 学級活動における話し合い活動、言語等による表現や発表などが重要である。また、活動の企画・立案を行ったり調査を行ったりすることも重要。こうした活動の基礎となる能力を各教科の学習を通して培う。例えば、国語科で行う話し合い形式の授業や弁論方式、英語科のスピーチや会話形式の授業などを参考にする。それによって学級活動における実践活動によって各教科で培われる能力が発展的に一層高められたり、深められたりする。 | 生徒会活動における話し合い活動、言語活動による表現や発表などが重要である。また、活動の企画・立案を行ったり、調査を行ったりすることも重要。こうした活動の基礎となる能力を各教科の学習を通して培う。例えば、社会科学習の中で社会参画の意義などを学ぶことで生徒会活動における自発的な実践活動によって各教科で培われる能力が発展的に一層高められたり深められたりする。 | 学芸発表会については、まさに各教科の学習との関連を図る。実技教科だけでなく国語科、英語科の発表や社会科、理科の研究発表など全教科に及ぶ。合唱コンクールでは音楽科が成果を発表する。また、運動会については、保健体育科の学習成果の発表としての視点を明確にする。遠足、修学旅行、林間学校は社会科・理科・家庭科・美術科との関連を重視する。 |
| | 学級活動を展開していく中で切り離して考えられない点は常に道徳的な視点である。道徳教材の中でそれぞれのテーマを事前事後に結びつけることで生徒の中により自制心と自立心が生まれる。例えば自分勝手な行動をとらずに節度ある生活をしようとする態度、自己の役割や責任を果たして生活しようとする態度、よりよい人間関係を築こうとする態度、集団や社会の一員としてみんなのために進んで働こうとする態度、自分たちで約束をつくって守ろうとする態度、目標をもって諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性に自身をもち集団生活を行おうとする態度などの道徳性を、集団生活を通して身に付けていく。 また、生徒同士の考え方、意見や主張、担任教師からの提案や示唆を様々な言語活動を通してどう表現していくかが課題となる。学年共通の発信も必要である。 | 生徒がよりよい生活を築くために、諸問題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的、自治的な生徒会活動を通して、望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付ける。 例えば、道徳の授業の中で行事におけるクラスの中での役割やボランティア活動等について学ぶことで生徒会活動の意義が一層深化される。 昨年度は特に東日本大震災に対しての募金活動を生徒会が中心になっておこない、人と人との絆についても意識が芽生え始めている。 | すべての行事についても道徳性を養うことを重視するが、特に次の行事については重点的に扱う。 ・薬物乱用防止教室、防犯教室： 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・学芸発表会(合唱コンクール)： 学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力する。 ・儀式的行事： 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。 |
| 他の教育活動との関連 | 学級活動で育成する集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度と総合的な学習の時間で育成するよりよく問題を解決する資質や能力を相互に役立たせるようにする態度は一致する。例えば、進路についての情報教育や生き方指導、職業意識を高める実践の中では学級集団が核となり機能するはずである。また、読書科として、読書力を養い、ブックトーク、テーマに沿った調べ学習等で小グループから学級集団への働きかけが基礎となる。また、図書館を利用した調べ学習を行う。東日本大震災を受けて、被災地被災者に対して、原発事故による電力不足について自らの問題としてとらえ自分たちができることは何かを学級単位で話し合い、行動する取り組み。 | 生徒会による諸活動を実践することを通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。 例えば、生徒総会に向けての学級単位での目標や各専門委員会への要望や質問などを討議する場として活用することにより将来の公民としての資質を養うことができる。 また、互いに教え合い学び合う活動を通して望ましい人間関係を構築することができる。 | 総合的な学習の時間の趣旨を踏まえ、社会とのかかわりを考える学習活動として行われる職場体験活動(チャレンジ・ザ・ドリーム)とボランティア活動を勤労生産・奉仕的行事の実施に替える。また、環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる自然体験活動を旅行・集団宿泊的行事の実施に替える。いずれも、学校行事の趣旨である学校集団や学校生活への所属感を深め、望ましい人間関係の形成や公共の精神などを養う活動であることを配慮する。 |
| 総合的な学習の時間 | 生徒は、学級や学校の一員として学校生活を送るとともに、家庭や地域の一員として生活しているため、学級活動の指導においては、家庭や地域等との連携・協力が重要な意味をもっていることから、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。身近にいる保護者や地域の方を人的資源(ゲストティーチャー)として活用し連携を図る。そして将来、地域で自分の果たす役割について考えたり、主体的に男女共同の社会参画する国民としての資質を育成できる。 また、地域に対してホームページや祭り参加などを通して積極的に情報発信していくことも必要である。 | 必要に応じて、校内の活動だけでなく、地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図るようするために、家庭や地域との連携を深める。そして、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用した教育活動を工夫していく。例えば近隣の共有プラザや老人福祉施設などへの訪問やボランティア活動を通して地域に貢献することで相互の交流を活発にしていける。 | すべての行事を積極的に地域に公開することで家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化、伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用したりする活動が展開できるよう工夫する。 例えば、歴代の同窓生を招いての同窓生講話は、毎年その道で活躍されている先輩方から貴重なお話を聞く機会、生徒達の胸に愛校心が確実にふくらんでいる。 |
| 家庭や地域との連携 | 生徒は、学級や学校の一員として学校生活を送るとともに、家庭や地域の一員として生活しているため、学級活動の指導においては、家庭や地域等との連携・協力が重要な意味をもっていることから、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。身近にいる保護者や地域の方を人的資源(ゲストティーチャー)として活用し連携を図る。そして将来、地域で自分の果たす役割について考えたり、主体的に男女共同の社会参画する国民としての資質を育成できる。 また、地域に対してホームページや祭り参加などを通して積極的に情報発信していくことも必要である。 | 必要に応じて、校内の活動だけでなく、地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図るようするために、家庭や地域との連携を深める。そして、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用した教育活動を工夫していく。例えば近隣の共有プラザや老人福祉施設などへの訪問やボランティア活動を通して地域に貢献することで相互の交流を活発にしていける。 | すべての行事を積極的に地域に公開することで家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化、伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用したりする活動が展開できるよう工夫する。 例えば、歴代の同窓生を招いての同窓生講話は、毎年その道で活躍されている先輩方から貴重なお話を聞く機会、生徒達の胸に愛校心が確実にふくらんでいる。 |